

グローバルセンター

令和5年度 グローバルセンター活動報告

Ⅰ. グローバルセンター概要

キャンパス・グローバル化部門	・国際教育研究プロジェクトの企画運営 ・海外大学・研究機関等との連携 ・国際社会に向けた情報発信
学生海外派遣部門	・海外研修・派遣留学等支援事業の実施 ・留学相談・留学支援 ・日本人学生と外国人留学生の国際共修の推進
外国人留学生部門	・全学留学生向け日本語・日本文化・異文化理解教育 ・外国人留学生への生活・学習支援 ・留学生と地域との交流促進

Ⅱ. 令和5年度の活動内容

1. 令和5年度グローバルセンター運営委員会

(1) 主な審議事項

A. 教務、教育プログラム運営

日本語日本文化研修留学生プログラム／Study Japan Program 開設科目と修了要件（前後期）／修了認定（前後期）／協定締結

B. 学生受入、派遣

鹿大「進取の精神」支援基金事業（留学生受入推進事業の募集、選考等）／JASSO 海外留学支援制度（協定派遣、協定受入）学内支援に関する申合せ制定

C. 人事、管理運営

特任教員公募／特任職員採用計画／令和4年度決算、令和5年度予算／令和5年度全国国立大学法人等留学生センター長及び留学生課長等合同会議開催／令和6年度前期非常勤講師雇用計画／業務効率化に向けた取組状況／構成員の自己点検・評価制度廃止／令和6年度経営戦略経費（学長裁量経費）要求

(2) 表1. 開催日程

* はメール会議

回数	1*	2	3*	4*	5*	6*	7	8	9	10
日程 (始)	令和5年									
(至)	4/17 4/20	5/16	6/20 6/23	7/20 7/24	8/10 8/22	9/7 9/11	9/19	10/17	11/21	12/19
回数	11	12*	13	14						
日程 (始)	令和6年									
(至)	1/16	1/29 2/1	2/20	3/19						

2. 令和5年度グローバルセンター教育関連事業（概要報告）

本節では、グローバルセンターが実施している事業の中から、特に学生教育を中心に概要を報告する。

(1) 学生海外派遣

(1a) 日本人学生の海外派遣実績

令和5年度は、大学全体で年度内に149名（短期海外研修122名、協定校派遣24名、トビタテ留学 JAPAN 3名）を派遣した。円安の影響があり、コロナ以前の人数と比較すると半数程度にとどまった。令和6年度の派遣に備えて、派遣候補生選考を行い、20名を選考した。派遣留学の事前学習として「派遣留学 I」を開講し、留学中の学習課題の明確化と危機管理セミナーを実施した。さらに、外国人留学生と共に学ぶ国際共修科目（「Intercultural Understanding and Acceptance」「Intercultural Communications for Global Citizens」「Confronting Kagoshima Regional Issues」）の受講を推進し、海外に行く前の準備として、海外に行かなくても国際的な環境で学ぶことができるよう、機会提供を行なった。

(1b) 海外留学啓発活動、指導

令和5年度海外研修及び派遣留学説明会と派遣候補生選考を行った（「派遣留学説明会」4月対面・6月オンライン開催、参加者計100名強、「トビタテ!説明会」11月オンライン開催、参加者計38名）。また、個別留学相談（参加者計8名）を実施した。循環型留学啓発教育では、派遣留学経験者に対し、学生海外派遣部門ホームページの留学体験談サイト「伝えよう！鹿大生の海外体験」に従来掲載していた留学先大学の基本情報や留学中の日常生活の一コマを描いた文章だけでなく、自らテーマを設定して調査した内容を発表してもらった。

12月には派遣留学報告会を実施し、学生のみならず教員も含む75名が参加した。学部生5名、大学院生3名による口頭発表に加え、学部生10名、大学院生3名によるポスター発表が行われたほか、国際事業課留学生係による留学相談ブースを設け、広く留学経験と情報の交換・周知を行った。

(1c) 地域人材育成プラットフォーム「グローバル教育プログラム」

運営委員として、地域人材育成プラットフォームの運営に携わるとともに、本プログラムにおいて、スタートアップ科目「Intercultural Communication for Global Citizens」、コア科目「Confronting Kagoshima Regional Issues」、地域志向科目「Kagoshima de SDGs I」「Kagoshima de SDGs II」を開講した。このうち、スタートアップ科目とコア科目では、鹿児島大学に留学中の外国出身学生との国際共修授業が行われ、後者は英語を使用言語としている。

また、本プログラムで担当している「グローバル実地研修」とこれに付随する事前学習、事後学習科目については、令和5年度は8名の受講者があり、このうち5名が西オーストラリア大学、3名が協定校に派遣留学生として渡航した。

(2) 国内学生と留学生の国際共修

外国人留学生がチューターとなって語学学習を行うグローバルランゲージスペース（グロ

スぺ)の活動を後期に実施した。週1回90分、固定グループで開講する「グロスペ外国語」は、コロナ禍ではオンラインで実施していたが後期から対面で再開し、参加学生は72名にのぼった(外国人留学生11名、受講学生61名、英語、中国語、韓国語、トルコ語)。参加者からの報告には、例年通り、参加を意義深いものとするコメントが多数見られた。

また、昼休みの時間を使って日本人学生と外国人留学生が日本語と英語で国際交流を行うランチタイムテーブル活動を実施した。全7回の活動を行い、参加者は延べ82名だった。コロナ禍の影響で学内の国際交流活動が軒並み中断していたこともあり、参加学生からは好評のコメントが多数得られた。

(3) 外国人留学生受入

(3a) 外国人留学生受入状況、教育体制

外国人留学生対象の日本語・文化学修科目として「Study Japan Program (SJP)」を開設し、初級から超級まで7つのレベルに応じた技能別科目を開講した。これに加え、桜ヶ丘・下荒田キャンパスの留学生や研究で多忙な外国人留学生の日本語学習ニーズに応えるため、初級日本語のオンラインクラスを実施した。SJPの年間開講科目数は48科目、年間受講者数は延べ620名と、コロナ禍の影響が色濃く残った前年度に比べてプログラムの規模は一気に拡大した。実施科目や受講者数の詳細は付録に掲載した統計表を参照いただきたい。

外国人留学生の受入について、実渡航に対する厳しい制限が徐々に緩和されたことで受入留学生数は大きく回復した。協定校からの交換留学生は、前年度から延期していた学生を含めて年間81名が来鹿し、各部局で受入れた。また、平成29年度より継続している鹿大「進取の精神」支援基金留学生受入推進事業では、「研究留学生受入プログラム」において1プログラム/2名(インドネシア・医学部)、「鹿児島日本語・日本文化研修プログラム」では2名(米国・法文学部)を受入れ、指導を行った。さらに、日本政府の国費外国人留学生である「日本語・日本文化研修留学生」を法文学部・教育学部と連携して受入れ、日本語による調査研究活動の指導や、修了成果発表会を企画実施した(令和4年度10月受入7名、令和5年度10月受入4名)。

正規の新入学部留学生が受講する共通教育日本語・日本事情科目(外国人留学生の必修科目)を6科目(12クラス)開講し、コーディネート及び指導を行った。日本語科目ではアカデミックな日本語運用能力の向上、日本事情科目では大学生活の基礎となる知識や視点の獲得等を目指して、学習内容の一層の充実を図った。また、留学初期の生活適応や学習に関する不安等に関して、修学支援室と連携した相談・指導を重点的に実施した。

(3b) 外国人留学生受入体制の充実

外国人留学生への経済的支援として、鹿大「進取の精神」支援基金留学生受入推進事業で22名を支援した。さらに大学独自の奨学金として「鹿児島大学留学生後援会奨学金」(3名)「種村完司私費外国人留学生奨学金」(5名)を給付した。

新規留学生獲得のため、進学説明会の開催・参加や多言語資料の送付による広報を行った。教職員が参加して受験希望者に直接広報する機会として、国内日本語学校での単独進学説明会2件の開催と、他機関主催の進学説明会3件への参加を行った。また、国内外の

日本語教育機関へ本学の受験案内を送付する方法で広く受験情報周知を行った。さらに、これらの広報活動に使用する広報資料（紙・PDF）を大幅改定し、大学資料へのアクセスや多言語化による利便性を向上させた。

外国人留学生をサポートする「留学生受入れサポートデスク」では、スタッフとして本学の学生を雇用し、入国時の手続支援、オンラインでの情報発信を強化した。また、学生スタッフへの研修の充実、マニュアル整備、スタッフ多様性の拡大など、対応力向上を目指した業務改善を行った。留学生宿舎である国際交流会館では、例年通り会館チューター5名（国際交流会館に居住する学生スタッフ）を採用し、国際事業課と共に、チューター指導・会館運営業務の改善に努めた。

(4) 学生・教職員への国際的な情報の発信

P-SEG Web サイトや SNS から国際的な活動についての情報発信を行った。

P-SEG website <https://gic.kagoshima-u.ac.jp/pseg/>

(5) 若手教員の国際的研究活動を支援する取組

令和5年度鹿児島大学若手研究者国際交流支援事業のうち「若手教員海外研修支援事業（若手枠）」では2件を支援した。また、事業のうち「文部科学省科学技術人材育成費補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」（令和2年度選定）の支援事業である「若手教員海外研修支援事業（女性枠）」では1件、国際交流助成事業では2件、国際共同研究促進事業では1件を支援した。これらの支援を通じ、若手研究者が国際的研究ネットワークを発展させる機会の提供に取り組んだ。

(6) 鹿大「進取の精神」支援基金事業

寄附金を原資とする同基金事業の実施報告として、「鹿大『進取の精神』支援基金 学生海外派遣事業 留学生受入推進事業 令和4年度事業報告書」を令和5年10月に刊行し、同基金を支援する目的で設立された鹿児島大学「鹿大『進取の精神』支援基金」支援会役員をはじめ関係各団体、企業に贈呈した。同事業により、令和5年度の海外派遣は国内学生327名が、受入は外国人留学生22名が支援を受けた。詳細は上記報告書または下記 Website を参照。

鹿大「進取の精神」支援基金事業 グローバルセンター Website

<https://gic.kagoshima-u.ac.jp/shinshu/>

（付録）Study Japan Program 令和5年度受講者の詳細

各授業の受講者数、性別、修了者数、受講者の在籍資格、専門・所属
令和5年度前期

科 目	受講者数	性別		修了者数	受講者の在籍資格							専門・所属																
		男性	女性		学部生	大学院生	研究生	予備教育生	短期等	農学	獣医	共同	水産	医学	工学	法文	教育	歯学	理学	人文	保険	理工	農林水産学	医歯	臨床心理	共同獣医学研	適合農学	適合獣医
会話1A	17	10	7	15	0	7	1	0	9	0	1	1	0	0	2	1	0	0	2	0	3	6	0	0	1	0	0	0
会話2A	17	6	11	12	0	1	11	1	4	8	1	0	0	2	4	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
会話3A	5	1	4	5	0	0	3	0	2	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会話4A	7	4	3	6	0	1	2	0	4	1	0	0	0	1	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会話5A	13	7	6	13	0	0	0	0	13	1	0	0	0	0	0	8	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
会話6A	16	4	12	16	0	0	2	0	14	0	0	0	0	0	1	8	5	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
総合日本語1	24	7	17	24	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0	12	5	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0
総合日本語2	19	7	12	19	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	11	4	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0
演習1A	17	10	7	14	0	7	1	0	9	0	1	1	0	0	2	1	0	0	2	0	3	6	0	0	1	0	0	0
演習2A	9	3	6	8	0	2	3	1	3	1	1	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
演習3A	7	2	5	6	0	1	4	0	2	1	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
読解4A	6	2	4	6	0	0	3	0	3	0	0	0	0	1	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
読解5A	21	11	10	18	0	0	2	0	19	2	0	0	0	0	1	11	5	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
読解6-1A 論文読解基礎	16	5	11	16	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	9	3	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0
読解6-2A	13	4	9	13	0	0	1	0	12	0	0	0	0	0	0	8	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
作文5A	19	8	11	18	0	0	1	0	18	2	0	0	0	0	0	9	6	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
作文6A	13	5	8	12	0	0	2	0	11	0	0	0	0	0	1	9	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
作文7A	10	1	9	10	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0
漢字	10	3	7	9	0	1	3	1	5	0	1	0	1	0	1	5	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
日本語7-ジョブA	41	15	26	34	0	1	2	0	38	1	0	0	0	2	20	9	0	2	6	0	0	1	0	0	0	0	0	0
日本社会と文化1	6	2	4	4	0	0	2	0	4	1	0	0	1	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本社会と文化2	14	7	7	13	0	0	0	0	14	1	0	0	0	0	9	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
修了レポート	2	2	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本語プレゼンテーション	7	3	4	7	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本語研修レポート	7	3	4	7	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
SJP科目 小計	336	132	204	307	0	21	43	3	269	20	5	2	4	13	156	63	0	8	38	0	7	18	0	0	2	0	0	0
オンラインクラス	Step1	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
	Step2	5	1	4	0	1	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
計	7	1	6	6	0	3	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	1	0	0
グローバルセンター開講科目 総計	343	133	210	307	0	24	45	3	271	22	5	2	4	13	156	63	0	8	38	0	7	21	0	0	3	1	0	0
日本語*	19	11	8	19	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	9	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本語II*	22	13	9	17	2	1	0	2	1	0	1	0	1	0	8	9	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
日本事情A*	19	10	9	18	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	8	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
共通教育科目 計	60	34	26	54	2	1	0	3	5	0	3	0	25	0	22	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注)1 数字は延べ数。
2 専門・所属：予備教育生はそれぞれの専門によって分類。
3 短期等：特別聴講学生、特別研究生、県費留学生、教員研修留学生、日本語日本文化研修留学生、科目等履修生。
4 修了者数欄  は修了認定をしない授業。
5 共通教育科目は共通教育センターで単位認定を行っている。

注) 1 数字は延べ数。

各授業の受講者数、性別、修了者数、受講者の在籍資格、専門・所属
令和5年度後期

科 目	受講者数	性別		修了者数	受講者の在籍資格							専門・所属																
		男性	女性		学部生	大学院生	研究生	予備教育生	短期等	農学	共同獣医	水産	医学	工学	法文	教育	歯学	理学	人文	保険	理工	農林水産学	医歯心理学	臨床獣医学研	共同獣医学研	連合農学	連合獣医	他大学
会話1B	11	8	3	7	0	6	4	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	0	2	1	0	1
会話2B	13	5	8	10	0	5	2	0	6	1	0	0	0	1	5	1	0	0	0	0	0	1	3	0	1	0	0	0
会話3B	10	6	4	10	0	1	6	0	3	1	1	0	0	1	4	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
会話4B	13	7	6	10	0	1	6	0	6	1	0	0	0	2	3	3	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0
会話5B	14	8	6	12	0	1	1	0	12	0	0	0	1	1	7	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会話6B	10	2	8	9	0	0	0	0	10	0	0	0	0	1	4	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合日本語1	17	2	15	17	0	0	2	0	15	0	0	0	0	0	7	1	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合日本語2	15	1	14	15	0	0	1	0	14	0	0	0	0	0	5	1	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0
演習1B	11	8	3	8	0	6	4	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	0	2	1	0	1
演習2B	11	5	6	7	0	3	2	0	6	1	0	0	0	1	5	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0
演習3B	12	8	4	10	0	1	6	0	5	2	1	0	0	1	3	2	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0
読解4B	6	4	2	4	0	1	3	0	2	1	0	0	0	1	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
読解5B	15	8	7	10	0	0	3	0	12	0	0	0	1	2	8	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
読解6-1B 論文読解基礎	18	3	15	17	0	0	1	0	17	0	0	0	0	0	5	2	0	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
読解6-2B	8	2	6	8	0	0	2	0	6	0	0	0	0	1	4	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
作文5B	11	6	5	10	0	0	1	0	10	0	0	0	1	0	6	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
作文6B	8	3	5	8	0	0	1	0	7	0	0	0	0	0	5	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
作文7B	14	5	9	14	0	0	2	0	12	0	0	0	0	1	9	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
漢字	9	4	5	7	0	1	2	0	6	1	0	0	0	1	5	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
日本語7-カブ7 B	37	15	22	32	0	0	2	0	35	1	0	0	1	2	14	10	0	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本社会と文化1	7	5	2	5	0	0	4	0	3	1	0	0	0	1	2	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本社会と文化2	14	6	8	13	0	0	0	0	14	0	0	0	0	1	5	5	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
留学生のための異文化理解 ※	—	1	0	1	—	0	0	1	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
SJP科目 小計	284	122	163	244	0	26	55	3	201	12	2	0	4	18	107	47	0	5	56	0	2	17	2	0	8	2	0	3
オンラインクラ	10	4	6	—	3	0	0	0	7	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0
ス	10	4	6	—	0	3	0	0	7	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0
グローバルセンター開講科目 総計	294	126	169	244	0	29	55	3	208	12	2	0	10	18	107	47	0	5	56	0	2	19	4	0	8	2	0	3
日本語III*	17	9	8	—	16	0	0	0	1	1	0	1	0	8	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本語IV*	18	10	8	—	17	0	0	0	1	2	0	1	0	8	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本事情B*	18	9	9	—	16	0	0	0	2	1	0	1	0	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
共通教育科目 計	53	28	25	—	49	0	0	0	4	4	0	3	0	24	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1) 数字は延べ数。
2 専門・所属：予備教育生はそれぞれの専門によって分類。
3 短期等：特別聴講学生、県費留学生、教員研修留学生、日本語日本文化研修留学生、科目等履修生。
4 修了者数欄  は修了認定をしない授業。
5 共通教育科目は共通教育センターで単位認定を行っている。
※ 共通教育科目に登録できない学生について記載

受講者の国籍
令和5年度後期

国籍	科目名																										国 別 人 数 総 計					
	会 話 1 B	会 話 2 3 B	会 話 3 4 B	会 話 4 5 B	会 話 5 6 B	総 合 日 本 語 1	総 合 日 本 語 2	演 習 1 B	演 習 2 B	演 習 3 B	読 解 4 B	読 解 5 B	読 解 6 1 1 B	読 解 6 1 2 B	作 文 5 B	作 文 6 B	作 文 7 B	漢 字	日 本 語 ワ ー ク シ ョ ッ プ B	留 学 生 の た め の 異 文 化 理 解	日 本 社 会 と 文 化 1	日 本 社 会 と 文 化 2	S J P 科 目 計	オンライ ン ク ラ ス	グ ロ ー バ ル セ ン タ ー 開 講 科 目 計	日 本 語 Ⅲ		日 本 語 Ⅳ	日 本 事 情 B	共 通 教 育 科 目 計		
																								S t e p 1							計	
イギリス	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	3	0	0	0	0	3	
インドネシア	0	3	0	1	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	2	0	1	1	13	8	8	21	0	0	0	0	21	
エチオピア	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	2	
エジプト	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	2	0	0	2	10	0	0	10	0	0	0	0	10	
オーストラリア	0	2	1	2	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	12	0	0	12	0	0	0	0	12	
カンボジア	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	6	0	0	6	0	0	0	0	6	
韓国	0	1	0	0	2	3	0	0	1	0	0	3	1	1	0	1	3	0	1	3	0	2	22	0	0	22	4	4	4	12	34	
ジンバブエ	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	2		
スペイン	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	4	0	0	4	0	0	0	0	4		
スリランカ	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4	0	0	0	0	4		
ソマリア連邦共和国	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	2		
タイ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	5	0	0	5	0	0	0	0	5	
台湾	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	2		
中国	0	1	3	8	4	7	15	15	0	1	4	3	5	15	5	3	4	11	1	20	0	4	6	135	2	2	137	12	13	13	38	175
ドイツ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	2	
トルコ	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	0	2	0	0	2	0	0	0	3	0	0	2	13	0	0	13	0	0	0	0	13	
ハンガリー	3	1	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	8	0	0	0	0	8		
フランス	0	2	1	2	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	2	15	0	0	15	0	0	0	0	15	
ブラジル	0	0	0	1	0	1	0	1	0	2	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	9	0	0	9	0	0	0	0	9		
ブルキナファソ	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	3	0	0	0	0	3		
フィリピン	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1		
フィジー	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	2		
ベトナム	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	3	0	0	0	0	3		
ペルー	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	3	0	0	0	0	3		
マラウイ	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	2	0	0	0	2		
マレーシア	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	1	1	3	5		
受講者総数	11	13	10	13	14	10	17	15	11	12	6	15	18	8	11	8	14	9	37	1	7	14	285	10	295	17	18	18	53	348		

注) 1 数字は延べ数。